

しまなみ

尾道市立市民病院広報誌

第63号

発行日：2026年 6月

〒722-8503
尾道市新高山3丁目1170-177
tel:0848-47-1155
fax:0848-47-1004
<https://onomichi-hospital.jp/>

読者からの写真提供より

尾道市立市民病院理念

尾道市立市民病院は、信頼される安全で
質の高い医療を提供し、市民の皆さまの健康を守ります。



副院長挨拶

医療安全管理部長兼副院長

かいほら まさのぶ
開原 正展

このたび、副院長として初めて広報誌「しまなみ」でご挨拶を申し上げます。私は内科医として当院で20年以上、高血圧や腎臓病を中心としながらも内科診療全般を行ってまいりました。また現在は、副院長として臨床研修と医療安全を担当しております。日々、患者さんと向き合うと同時に、若い医療者の育成や、安全で質の高い医療体制づくりに取り組んでおります。

近年、地域医療を取り巻く環境は大きく変化しています。当院においても、医師や看護師不足、人口構成や医療需要の変化などの影響を受け、厳しい経営状況が続いております。また、建物や設備の老朽化も進み、新病院建設に向けた検討を続けておりますが、解決すべき課題は少なくありません。

そのような中でも、私たちは「地域に必要とされる病院であり続けること」を最も大切に考えています。

これまで当院は、救急医療をはじめとして、地域の皆さまの安心を支える役割を担ってまいりました。しかし、限られた医療資源の中で、従来と同じ形を維持するだけでは、持続可能な地域医療を守ることは難しくなっています。今後は、地域の医療機関や介護・福祉施設、行政と

の連携をさらに深めながら、「この地域に本当に必要とされる医療は何か」を考え、病院のあり方を見直していく必要があります。

我々医師の立場としては、各々が夢や信念、専門性を持ってこの病院に集っているため、簡単に「心をひとつにして」とはいかないという考えもあります。しかし、地域の要請に向き合えない医療機関は、今後の社会情勢のなかで生き残り自体が困難であることは自明です。

一方で、患者さん一人ひとりに真摯に向き合う姿勢は、どんな時代になっても変わらない大切なものです。病気を診るだけでなく、不安や生活背景にも目を向け、安心して医療を受けていただける病院でありたいと考えています。また、若い医師や医療スタッフが地域医療の魅力を感じ、ここで学び、働きたいと思える環境づくりにも力を注いでまいります。

地域医療は、病院だけで成り立つものではありません。地域の皆さまの理解と支えがあってこそ守られるものです。皆さまとともに歩みながら、時代に合わせて変化し、次の世代へ地域医療をつないでいきたいと考えております。

今後とも、温かいご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新任医師のごあいさつ



放射線科
いな い りょう た
稲井 良太

2026年4月より尾道市立市民病院に赴任して参りました放射線科の稲井良太と申します。
2006年に岡山大学を卒業後、岡山大学病院

をはじめとした中国地方での勤務を経て、2019年より福山市民病院に勤務して、この度ご縁ありまして当院に赴任する事となりました。私の故郷はしまなみ海道によって尾道と結ばれている今治であり、瀬戸内海に面した風景に郷愁を感じております。

私はCTやMRIといった画像診断を主に行っています。患者さんと直接対面することは少ないですが、画像を通して患者さんの病態を丁寧に診るということを常日頃心がけています。地方医療に貢献できるようがんばりますので尾道の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。



脳神経外科
まきの けい ご
牧野 圭悟

このたびはご縁をいただき、尾道市立市民病院に赴任して参りました。脳神経外科の牧野圭悟と申します。

2013年に奈良県立医科大学を卒業後、各地の医療機関で脳神経外科に従事し、2026年3月までは広島市立広島市民病院にて2年半勤務をしておりました。

鳥取県の米子市出身で日本海に面した地域に育ち、このたび瀬戸内海に面した尾道で診療に携わることとなり、海とともにある地域で医療に関われることをうれしく思っております。

これまでの経験を活かし、脳卒中や頭部外傷、脳腫瘍などの診療を幅広く対応しながら、患者さん一人一人に寄り添った丁寧な医療を心がけております。気になる症状やご不安な点を安心してご相談いただけるよう、地域のかかりつけの先生方とも連携しながら切れ目のない医療の提供に努めてまいります。

地域の皆さまに信頼していただけるよう、専門性を大切にしつつ、安心できる医療を提供できるように頑張らせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



整形外科
おぎの けん や
荻野 健哉

2026年4月より尾道市立市民病院に赴任して参りました。整形外科の荻野健哉と申します。

2022年に山口大学を卒業後、中国中央病院で初期研修を終了し、この度ご縁がありまして当院に赴任することとなりました。

整形外科医としてまだ1年目であり、未熟な点も多々あるかと思いますが、患者さんお一人おひとりに真摯に向き合いながら日々診療に取り組んでまいります。皆さまから多くを学びながら、医療人として着実に成長していき、尾道市の医療に貢献できるように誠心誠意努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



内科
うちだ なるひこ
内田 成彦

2026年4月より尾道市立市民病院に参りました、内田成彦と申します。
専門分野は腎臓内科です。

2018年に岡山大学を卒業後、中国中央病院、岡山大学病院での勤務を経て、2024年からは岡山大学大学院にて腎病理に関する研究を行ってまいりました。

大学病院や大学院で学んだ専門性を活かしながら、このたびご縁をいただいた尾道市の医療に貢献できるよう尽力致します。患者さんやご家族の考えにしっかりと耳を傾け、丁寧な診療を心がけてまいります。

若輩者ではございますが、何卒よろしくお願いいたします。



研修医
なかむら だいすけ
中村 大介

皆さま初めまして。2026年4月より尾道市立市民病院で初期研修医として勤務しております、中村大介と申します。

岡山大学を卒業後、研修を開始するにあたり、ご縁があってこちらの病院で勤務することになりました。尾道に住み始めてからまだ日は浅いですが、美しい瀬戸内の風景に癒やされながら仕事に励み、また尾道ラーメンを始めとしたグ

ルメも満喫しており、非常に充実した生活をさせて頂いています。

まだ医師になったばかりの駆け出しではありますが、毎日が新鮮な学びと経験の連続で、優しいスタッフの方々に支えて頂きながら、日々充実した研修生活を送っており、成長を実感する毎日です。経験は浅いですが、患者さんを大切にする気持ちはベテランの先生方に負けまいと思いながら頑張っています。

皆さまに信頼して頂ける医師になれるよう、これからも1日1日を大切にして研鑽を積んでいきますので、あたたかく見守って頂けますと幸いです。院内で見かけた際にはどうぞお気軽に声をかけてください。尾道のおすすめスポットなど教えて頂けるととても嬉しいです。今後ともよろしくお願いいたします。

地域で支える薬物治療

当院は、地域の皆さまが住み慣れた場所で安心して病気やけがの治療を受けられるよう、地域の医療・介護施設、保険薬局等と連携し、「地域で支える医療」の実現に取り組んでいます。ここでは、手術などで入院される際に、入院前から退院後まで切れ目のない適切な薬物治療を提供するための取り組みについてご紹介します。

①服用中のお薬の確認

手術や侵襲的な検査のために入院が必要となった場合、服用中のお薬の中に「一時的に中止（休薬）」しなければならないお薬がないか確認させていただきます。

②休薬説明とお薬の整理

手術や検査を受けるにあたり休薬する必要がある場合には、該当するお薬と休薬期間を患者さんにご説明します。また、「保険薬局へ休薬管理や服薬状況などの情報を当院へ提供していただくための依頼書」を患者さんへお渡します。この依頼書は、より安全・安心に治療が受けられるよう、入院前に保険薬局でお薬の整理や休薬管理を行い、その情報を当院へ提供していただくためのものです。適切な薬物治療を継続するため、また、休薬忘れによる手術や検査の延期を防ぐために、この依頼書を持ってかかりつけの保険薬局へ相談に行くことを推奨しています。

③休薬忘れの防止

休薬が必要な患者さんには、休薬を忘れないように当院および②で依頼された保険薬局から、必要に応じて確認の連絡をさせていただきます。



④入院前の情報連携

入院の日が近づくと、②で依頼を受けた保険薬局から当院へ服用中のお薬や服薬状況、薬剤アレルギーなどの情報が提供されます。

⑤服薬状況の確認

入院時には、改めて患者さんへの聴き取りを行

い、お薬手帳や④の情報などから服用中のお薬や服薬状況、休薬が必要な場合は予定どおり休薬できているかなどを確認し、それらの情報を医師、看護師、薬剤師等で共有します。

⑥処方内容の見直し (ポリファーマシー対策)

複数の診療科や医療機関を受診されている場合、まれにお薬の重複や不適切な飲み合わせ、また、現在の体調に対してお薬の種類や量が多くなっていることがあります。このような多剤併用（ポリファーマシー）が確認された場合は、入院中に医師・看護師・薬剤師などの多職種が連携し、より安全で適切な処方内容となるよう見直しに取り組んでいます。

⑦退院時の情報共有

退院・転院時には、入院中に変更になったお薬やその経緯などを記載した「退院時薬剤情報提供書」を発行し、連携する保険薬局や医療・介護施設等と情報を共有します。

⑧外来における情報共有 (トレーシングレポート)

保険薬局は、外来で薬物治療中の患者さんの服薬状況や残薬、服薬指導の内容など、緊急性・即時性は低いものの適切な薬物治療を継続するために処方医師と共有すべき情報があれば、「服薬情報提供書（トレーシングレポート）」として処方医師へ提供します。処方医師は、トレーシングレポートの情報をふまえて次回の処方を検討します。

入院前から退院後まで切れ目のない適切な薬物治療を円滑に連携して行うために、かかりつけ薬局を活用することを推奨しています。患者さん・ご家族、関係各所の皆さま、今後ともよろしくお願い申し上げます。

画論 33rd The Best Image CT部門優秀賞を受賞しました

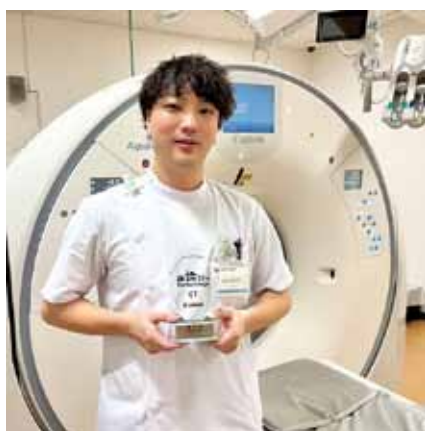
医療技術部 診療放射線科 藤原佑太

臨床画像コンテスト「画論 33rd The Best Image」(2025年12月14日に開催)にて、CT (Aquilion ONE 部門) 部門で上位入賞し優秀賞を受賞しました。

画論とは、「画像診断技術の発展と医療への貢献に役立つ画像」をユーザー間で共有する目的でキヤノンメディカルシステムズ(株)が主催する歴史ある大会です。2025年はCT部門、MR部門、超音波部門の3部門合計で約400件の応募が全国から集まりました。

日頃より、病気を発見しやすく患者さんも理解しやすい画像提供を心掛けておりますが、その取り組みを今回評価いただいたと感じています。これからも取り組みを継続しより良い医療を提供できるよう精進していきます。

最後に、この賞を受賞するにあたってご尽力頂いた放射線科の福間先生(現：岡山大学病院)、診療技術部診療放射線科の皆さまに、この場を借りて心より感謝申し上げます。



X線TV(透視)装置を更新しました

2025年12月に16年間使用したX線TV(透視)装置をCanon社製Astorex i9へ更新しました。

新装置は、高画質・低被ばく検査コンセプトである「octave i」を搭載し従来に比べ線量を65%低減することが可能となり被検者の被ばくを低減しつつ安心・安全な検査を提供しています。また、「i-fluoro」という機能を搭載し従来では視野移動の際、機器自体が動く必要があり内視鏡併用検査ではカメラが体内に入っている状況や椎体穿刺などの穿刺手技において移動の際に生じる振動により危険を伴っていましたが、この機能により振動はなくなり、より医師の繊細な手技を妨げることなく安全な検査を提供することが可能となりましたので、より安全な検査を受けていただけます。

〈内視鏡併用検査 例〉



黄色の範囲内は機械的な移動なく視野(緑色)だけ移動カメラの移動に合わせて安全に追従することが可能です。

看護部より 入職から一年を振り返って

4東病棟 2025年入職

私はこの1年を通して、「報告・連絡・相談」の重要性をよりいっそう実感しました。PNS・チームナースング体制での看護業務は初めての経験でしたが、多職種と協働しながら情報を有効的に活用し患者さんやご家族を中心に寄り添った看護が提供できたと思います。まだまだ課題は多いですが、先輩方や多職種への報告・連絡・相談を忘れず思いやりのあるあたたかい看護を提供していきたいです。

新3病棟 卒後二年目

昨年は新人研修を通して学んだ知識・看護技術を現場で実践に結び付け、また入院から周術期、退院までの看護・ケアなどを学びました。特に日々の患者さんの状態・ADLの変化を細やかに観察し、早期から多職種間で相談し介入を進める重要性への理解も深めることができました。

大好きな地元で貢献できることが何よりも嬉しいです。引き続き自己研鑽に努め、笑顔を忘れず、市民の皆さまに安心と信頼の頂ける看護を目指し精進して参ります。

新2病棟 2025年入職

尾道市へ移住してこの4月で1年が経ちました。当初は、新しい環境への期待と不安がありましたが、疑問に思ったことをすぐに相談できる温かな職場環境の中で、患者さんと関わるうちに仕事にやりがいと楽しさを実感できるようになりました。地域の皆さまやスタッフの皆さんに支えられ、自分自身が成長できていることに心から感謝しています。これからも大好きな尾道市に貢献できるよう、研鑽を重ねていきたいと思っています。

新2病棟 卒後二年目

看護師として働きはじめ1年が経ちました。あっという間で、密度の高い1年だったと感じます。はじめは患者さんとの会話でもとても緊張していましたが、今では患者さんと笑い合うこともできて嬉しいです。大変なこともたくさんありますが、患者さんからの「ありがとう」の言葉に日々元気をもらっています。まだまだ不安に思うこともありますが、安心して患者さんが身をまかせられる看護師になれるように頑張りたいです。

専門・認定看護師による相談窓口の紹介

病院・診療所・老人福祉施設等にお勤めの医療・介護従事者の方を対象に相談窓口を開設しております。日頃抱えている困りごとへの対応、スタッフ教育・研修会の開催などの相談に対応しております。尾道市立市民病院ホームページ内、「医療関係者へのご案内」→「専門・認定看護師による相談窓口」をご参照ください。

《ご案内》
尾道市立市民病院
専門・認定看護師による相談窓口

地域医療・看護・介護・福祉との連携強化や充実を目的とし、当院の専門・認定看護師による相談窓口を開設しました。担当者から各専門分野の知識や経験を伝わり、ご質問に回答いたします。

※対象：病院・診療所・老人福祉施設等にお勤めの医療・介護従事者
※内容：日頃抱えている困りごとへの対応、スタッフ教育・研修会の開催など
※方法：FAXによるお申し込み

① 専用用紙を、FAXにてお申し込み下さい
② お申し込みを受け付け後、担当者からご希望の方法でご連絡します

注1) 患者または利用者などの個人が特定されないようご配慮下さい
注2) 担当者の数限により返信に時間を要する場合があります。ご了承下さい

※連絡先：《FAX》0848-47-1171 《地域連携室》

分野	相談内容（日頃の困りごとへの対応、スタッフ教育・研修会の開催など）
精神看護 （リハビリ・精神看護）	精神科病棟・がん室などにおける患者や家族のケア、スタッフのメンタルヘルスについて、患者およびその家族への後援的支援に関する指導相談、看護研究相談 など
皮膚・排泄ケア	ストーマに関する相談、褥瘡に関する相談、排泄に関する相談 など
感染対策	標準予防策、感染経路予防策（手洗い、咳エチケット、感染性廃棄物の処理）に関する相談、医療感染対策（院内感染、感染症対策、消毒）に関する相談 など
集中ケア	在宅人工呼吸器使用時の相談、気管切開時のケア（吸引や換気）の相談、在宅酸素療法中のケア など
緩和ケア	緩和ケアについて、療養のマネジメント、終末期のケア など
救急看護	心肺蘇生法、災害時対応 など
慢性心不全看護	心不全・心不全などに関する相談、心不全の病状に合わせた生活指導、早期受診の目安と緊急時の対応、地域との連携、救急決定支援（人生会議のお手伝い） など
認知症看護	認知症予防について、認知症対応の考え方、認知症者や家族支援、認知症カフェ・認知症教室の立ち上げ支援 など

専門・認定看護師相談用紙

相談内容をこちらの用紙に記入しFAX送信、またはメールにて添付して送信してください。
※勤務状況等により、返信に時間を要する場合があります。あらかじめご了承ください。

FAX番号:0848-47-1171
(お問い合わせ電話番号:0848-47-1170)

相談日(※必須)	年	月	日
相談依頼ご施設名			
相談者氏名(※必須)			
職種(※必須)	☐ 看護師 ☐ 介護福祉士 ☐ 介護支援専門員 ☐ 医師 ☐ その他		
電話番号(※必須)			
メールアドレス	※メール連絡をご希望の方のみ		
相談希望分野(※必須)	☐ 精神看護 ☐ 皮膚・排泄ケア ☐ 感染管理 ☐ 集中ケア ☐ 緩和ケア ☐ 救急看護 ☐ 慢性心不全看護 ☐ 認知症看護 ☐ 勉強会などの講師依頼(ご希望の分野にチェックを入れてください)		
相談内容(※必須)	※個人が特定されないようご注意ください		
連絡方法(※必須)	☐ 電話 ☐ メール		
電話の場合	☐ 月曜日 ☐ 火曜日 ☐ 水曜日 ☐ 木曜日 ☐ 金曜日 ☐ 曜日指定なし		
時間帯	☐ 午前 ☐ 午後 ☐ 指定なし		

接遇委員会より アンケート結果のお知らせ

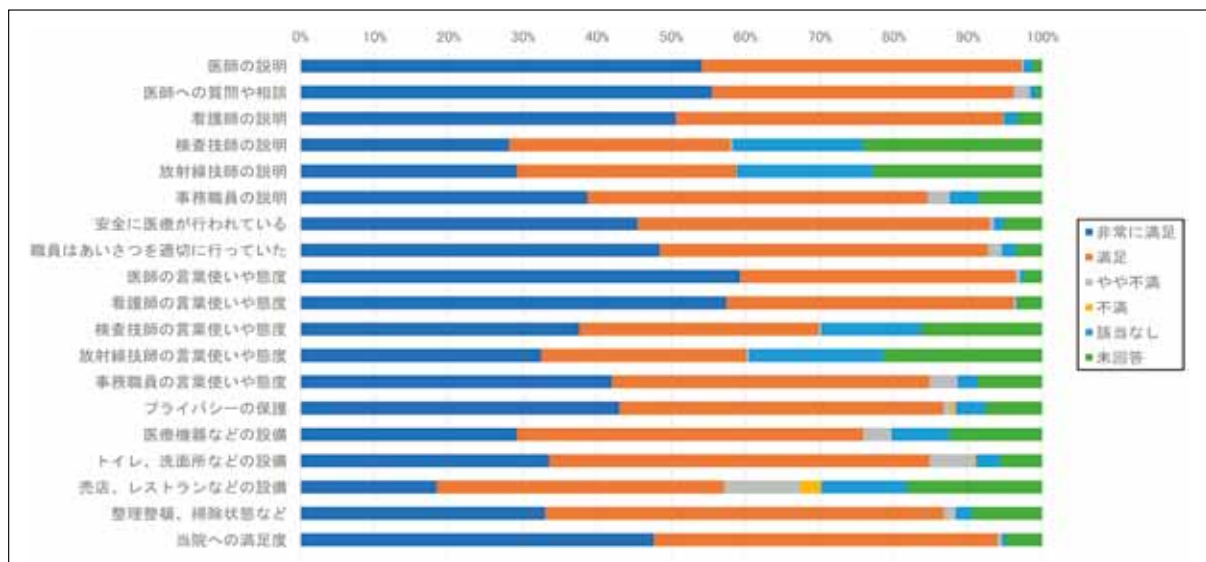
私たち尾道市立市民病院の職員は、「信頼される安全で質の高い医療を提供し、市民の皆さまの健康を守ります」の理念のもと、中核医療機関として良質な医療の提供に日々努めています。接遇委員会は各部門・部署からの31名の委員で構成し、職員に対する接遇教育の充実を図り、医療現場における接遇の重要性の啓発を行っています。患者さんに安心して来院してもらえる病院であるとともに、職員にとっても楽しく心地よい職場環境であるよう目指しています。

接遇委員会の活動は、毎月1回委員会を開催し、患者さん・ご家族からのアンケートやご意見を共有し改善策の検討を行っています。ご意見に対す

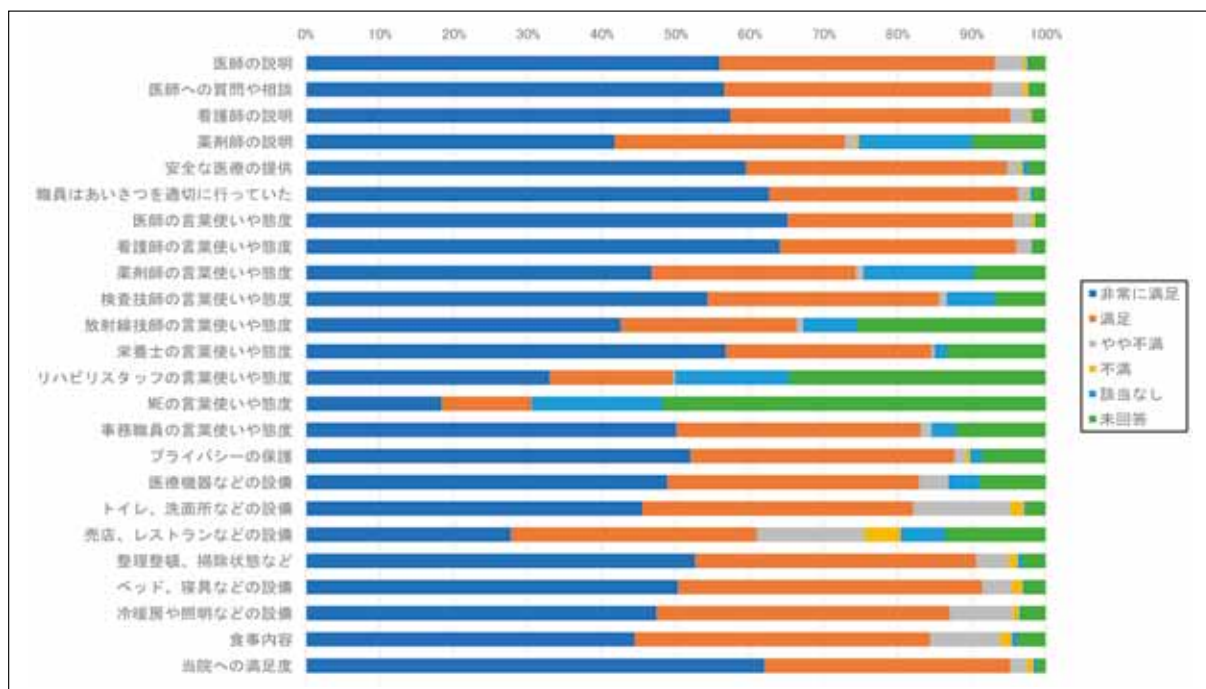
る「院長からの回答」を院内に掲示しておりますのでご覧下さい。また接遇標語を作成し、職員の行動目標としています。院内研修では、ロールプレイング大会を2回開催しました。日々の実際の場面を切り取って行うロールプレイングでは、多職種でディスカッションを行うことで、新しい気づきを習得し、自己の振り返りの場となっています。また、院外講師を迎えての研修会を2回開催しました。実践で活かせる接遇や電話応対、自分たちが経験した事例をもとに対応方法について指導を得ることができ、よい学びとなりました。

今回は、2025年度の患者アンケート結果についてご報告いたします。

2025年度 外来患者アンケート年間集計 (2025年4月～2026年3月)



2025年度 入院患者アンケート年間集計 (2025年4月～2026年3月)



科別診療割表

診療受付時間 午前8時30分から午前11時まで（救急は随時）
 休診日 土曜日・日曜日・祝日・12月29日から翌年1月3日

診療科	科 別		月	火	水	木	金	備 考
内 科 総合診療科	午前	1 診	水戸川 剛秀 (内科全般)	開原 正展 (腎・高血圧)	水戸川 剛秀 (内科全般)	水戸川 剛秀 (内科全般)	開原 正展 (腎・高血圧)	
		2 診	開原 正展 (腎・高血圧)		内田 成彦 (腎)	内田 成彦 (腎)	藤本 靖郎 (総合診療)	
		3 診	藤本 靖郎 (総合診療)				長澤 紗詠子 (糖尿病)	
		4 診				山脇 泰秀 (総合診療)	山脇 泰秀 (総合診療)	
		総診 1			山田 雅智※1 (リウマチ・膠原病)			※1 予約制
		午後		検診 長澤 紗詠子 (糖尿病)	検診	検診	検診	※2 予約制
呼吸器内科	午前		片岡 幹男	片岡 幹男	藤原 美穂	藤原 美穂		
	午後			禁煙外来※3		検査		※3 禁煙外来14:30から
消化器内科	午前	1 診	大城 勝	森藤 由記	笠井 健史	大城 勝	森藤 由記	
		2 診	笠井 健史				石黒 美佳子※4	※4 予約制
	午後		検査	検査	検査	検査		
循環器内科	午後	午前	小林 博夫	小林 博夫	高村 俊行	高村 俊行	小林 博夫	心不全看護外来予約制
		診察				ペースメーカー外来※5		※5 第2木曜日 14:00から
		検査	検査	検査	検査	検査	検査	
		血管診療センター※6	検査	検査・診療		検査		※6 予約制
脳神経内科	午前			岡本 美由紀※7				※7 予約制
	午後							
外 科 (肛 門 科)	午前	1 診	村田／濱田	村田 年弘	下田／岡野	濱田 侑紀	村田 年弘	
		2 診		上塚 大一		川真田 修	下田 篤史	
		3 診		岡野 由佳	上塚 大一(肛門科)			
		午後	手術 (ストーマ外来)※8	検査	手術	検査	手術	※8 第2・4月曜日
乳腺甲状腺外科	午前		手術	山本 真理	手術	山本 真理	山本 真理	
	午後		手術	山本 真理	手術	山本 真理		
整 形 外 科	午前	1 診	廣岡 孝彦 (予約)	藤井 淳一	廣岡 孝彦 (予約)	藤井 淳一	廣岡 孝彦 (予約)	
		2 診						
		3 診	藤井 淳一	迫間 巧将	迫間 巧将	荻野 健哉	佐藤 浩平	
		4 診	本村 賢信	佐藤 浩平	清水 健志	清水 健志	本村 賢信	
		5 診	荻野 健哉	装 具	岡田 幸正※9	装 具		※9 第1水曜日13:00から
		午後	手術	手術	手術	手術	手術	
形 成 外 科	午前							
	午後				山本 康弘※10 手術 (乳房再建)			※10 手術応援のみ
小 児 科	午前		衣川 佳数	衣川 佳数	衣川 佳数	衣川 佳数	衣川 佳数	
	午後		乳児健診※11		予防接種※11			※11 予約制 時間は電話で相談可
脳神経外科	午前	1 診	土本 正治	五月女 悠太	牧野 圭悟	土本 正治	梅田 剛志	
		2 診	守山 英二※12	守山 英二※12	守山 英二※12		守山 英二※12	※12 予約制9:00～12:00
		午後	土本 (頭痛外来)	手術	検査	手術	検査	13:30から
産 婦 人 科	午前	新患再来	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	
	午後		検査	検査	検査	検査	検査	
皮 膚 科	午前		榎野 かおり	榎野 かおり	榎野 かおり	榎野 かおり	榎野 かおり	
	午後		検査	手術	手術	検査	検査	
泌 尿 器 科	午前	1 診	安藤 展芳	安藤 展芳	杉本 盛人	杉本 盛人	黒明 晃大	
		2 診	黒明 晃大	大枝 忠史	安藤 展芳	大枝 忠史	杉本 盛人	
		3 診					大枝 忠史	
		午後	検査	手術	検査	手術	検査	
耳鼻いんこう科	午前			診療あり			診療あり	広島大学病院より
	午後			(睡眠時無呼吸外来)				
眼 科	午前					諫見 久恵		午前のみ
	午後							
放 射 線 科	午前	画像診断 治 療	稲井 良太	稲井 良太	稲井 良太	稲井 良太	稲井 良太	
				渡邊 謙太 (予約)				
		午後	画像診断	画像診断	画像診断	画像診断	画像診断	予約制
歯科口腔外科	午前	吉田 明弘	吉田 明弘	吉田 明弘	吉田 明弘	手術		
	午後	口腔外科	口腔外科	口腔外科	口腔外科	手術		予約制
リハビリテーション科	午前			吉原 大貴				予約制
	午後			田中 芳幸				予約制

専門外来のご紹介(予約制)

月 曜：ストーマ外来(第2・4)／頭痛外来／脳脊髄液漏出症外来
 火 曜：禁煙外来／睡眠時無呼吸外来／炎症性腸疾患専門外来
 脳脊髄液漏出症外来

水 曜：脳脊髄液漏出症外来
 木 曜：ペースメーカー外来(第2週)
 金 曜：脳脊髄液漏出症外来

